

1. 件名：日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 JRR-3 の自動停止についての面談

2. 日時：令和4年7月29日(金) 11時00分～11時30分

3. 場所：テレビ会議

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房 総務課 事故対処室

佐々木室長補佐、田村室長補佐、有田係長

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

石井主任監視指導官

日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）

原子力科学研究所 遠藤所長、他8名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁は原子力機構より、7月26日に発生した原子力科学研究所 JRR-3 の自動停止について、原因調査の結果、7月27日の面談での指摘事項への回答等について、配付資料に沿って、説明を受けた。

(2) 原子力規制庁から主に以下を指摘した。

○今回の原因調査の結果、誤信号発生の決定的な原因は確認されなかったとしているが、今後、本件と同様の事象が再発した場合、何らかの決定的な原因があると考えられるので、改めて原因調査を行うこと。

(3) 原子力機構から、指摘を踏まえて適切に対応する旨回答があった。

6. 配付資料

「JRR-3 原子炉自動停止について（「1次冷却材流量低」スクラム信号の発生）」

「規制庁コメント」

「参考資料1」

「参考資料2」

「参考資料3」